



## 未来の夢計画

国際ロータリー第2510地区

2010-2011年度 ガバナー **佐々木正丞**

(札幌RC)

「全世界的な規模で慈善・教育・その他社会奉仕の分野でよりよきことをするために基金をつくろう」——ロータリー財団の起源は、1917年、米国ジョージア州アトランタで開催された国際大会において、アーチ・クラフがこのように提案した「ロータリー基金」にさかのぼることができます。数ヵ月後、26ドル50セントの最初の寄付金を受け取るのですが、当初、これはクラフ会長への記念品の購入資金だったようでありました。この基金は1928年の国際大会で「ロータリー財団」と名づけられ、5,739ドル7セントにまで成長していました。1931年に信託組織となり、1983年に米国イリノイ州法の法令の下に非営利財団法人となったのであります。

ロータリー財団を構成する法人会員はRIのみで、ロータリー財団の正式名称は「国際ロータリーのロータリー財団」です。RIと法的に組織は違っても、その目的・使命・活動は両者共に一体のものであります。

ロータリー財団の使命は、2000年2月のロータリー財団管理委員会において改訂され、「ロータリー財団の使命は、地域レベル、全国レベル、国際レベルの人道的、教育的、文化交流等のプログラムを通じて、ロータリーの綱領とロータリーの使命を遂行し、かつ世界理解と平和を達成しようとするRIの努力を支援すること」と決定され、RI理事会にも承認されました。

ロータリー財団が2017年に創立100周年を迎えることを機に、管理委員会は、財団が「奉仕」の第二世紀に移行するための計画を立てたのであります。創立以来、ロータリー財団は、プログラムにほとんど変更を加えることがありませんでしたが、管理委員会は、多種多様な関係者の意見を取り入れ、「未来の夢計画」を立案しました。この計画では、財団の使命を新たにするとともに、ロータリアンが多岐にわたるプロジェクトを実施することで、多大な影響をもたらし、持続可能な成果を生むことができるよう、より一層、有効適切な支援方法が編み出されました。

2007年に改訂された、新しいロータリー財団の使命は、「ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること」です。財団の新しい使命、そして「世界でよいことをしよう」という新しい標語は、財団管理委員会とRI理事会、ならびに規定審議会によって承認されました。

すでに、2010年7月から74カ国100のパイロット地区で「未来の夢計画」はスタートしております。パイロット段階で新補助金モデルを検証し、2013年7月からの全世界での実施にむけて問題解決に努めなければいけません。

そのためにも、2510地区は、現在のシステムから新しいシステムに移行するための準備作業が急務であります。現在の財団プログラムは、大きく3つの分野に分けることができます。それは、教育的プログラム、人道的プログラム、ポリオプラスプログラムであります。新しいシステムでは、6つの重点分野が示されておりますが、実際には人道的な分野に力点が置かれています。

今月は、ロータリー財団月間であります。皆さんも新しい補助金制度を研究し、クラブでの自主的・主体的奉仕活動に活用すると共に未来のロータリーについて考えてみませんか。